



2026 年 8 月 14 日

各 位

会社名 株式会社 モダリス
代表者名 代表取締役 CEO 森田 晴彦
(コード：4883、東証グロース)
問合せ先 執行役員 中島 陽介
(TEL. 03-6231-0456)

(再訂正) 2026 年 12 月期第 2 四半期決算説明資料の訂正に関するお知らせ

2026 年 8 月 10 日に開示いたしました「2026 年 12 月期第 2 四半期決算説明資料」につきまして、同日に「(訂正) 2026 年 12 月期第 2 四半期決算説明資料の訂正に関するお知らせ」を公表しましたが、下記の通り再訂正させていただきますとともに、訂正後の該当ページを添付いたします。

記

1. 訂正理由

2026 年 8 月 13 日付『(訂正・数値データ訂正)「2026 年 12 月期 第 2 四半期 (中間期) 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について』にて発表しましたとおり、2026 年 12 月期第 2 四半期 (中間期) 決算短信の一部訂正を行いました。これに伴い、関連する説明資料の訂正を行うものです。

2. 訂正箇所

p. 26, 27 2026 年第 2 四半期末 財務状況

(訂正前)

貸借対照表

(百万円)

	2025年12月期末 (A)	2026年12月期 第2四半期末 (B)	差異 (B) - (A)
流動資産	2,892	3,083	191
現金及び預金	2,812	3,015	203
固定資産	71	52	△19
資産合計	2,964	3,136	172
流動負債	134	669	535
固定負債	36	3	△33
負債合計	170	673	502
純資産合計	2,793	2,462	△330
負債純資産合計	2,964	3,136	172
自己資本比率	93.0%	76.9%	

損益計算書

(百万円)

	2025年12月期 第2四半期 (A)	2026年12月期 第2四半期 (B)	差異 (B) - (A)
事業収益	-	-	-
事業費用	1,031	<u>1,000</u>	<u>△31</u>
研究開発費	906	<u>911</u>	<u>5</u>
販管費	125	88	△37
営業利益	△1,031	<u>△1,000</u>	<u>31</u>
経常利益	△1,019	<u>△965</u>	<u>53</u>
当期純利益	△1,020	<u>△920</u>	<u>100</u>

(訂正後)
貸借対照表

(百万円)

	2025年12月期末 (A)	2026年12月期 第2四半期末 (B)	差異 (B) - (A)
流動資産	2,892	3,083	191
現金及び預金	2,812	3,015	203
固定資産	71	52	△19
資産合計	2,964	3,136	172
流動負債	134	<u>659</u>	<u>524</u>
固定負債	36	3	△33
負債合計	170	<u>662</u>	<u>491</u>
純資産合計	2,793	<u>2,473</u>	<u>△319</u>
負債純資産合計	2,964	3,136	172
自己資本比率	93.0%	<u>77.2%</u>	

損益計算書

(百万円)

	2025年12月期 第2四半期 (A)	2026年12月期 第2四半期 (B)	差異 (B) - (A)
事業収益	-	-	-
事業費用	1,031	<u>989</u>	<u>△42</u>
研究開発費	906	<u>900</u>	<u>△5</u>
販管費	125	88	△37
営業利益	△1,031	<u>△989</u>	<u>42</u>
経常利益	△1,019	<u>△954</u>	<u>64</u>
当期純利益	△1,020	<u>△909</u>	<u>110</u>

以 上



2. 財務の状況

@ 2026年12月期第2四半期末

2026年第2四半期末 財務状況(貸借対照表)

第2回普通社債の3億円によりキャッシュポジションが改善。同時に負債が増加。

(百万円)

	2025年12月期末 (A)	2026年12月期 第2四半期末 (B)	差異 (B) - (A)
流動資産	2,892	3,083	191
現金及び預金	2,812	3,015	203
固定資産	71	52	△19
資産合計	2,964	3,136	172
流動負債	134	659	524
固定負債	36	3	△33
負債合計	170	662	491
純資産合計	2,793	2,473	△319
負債純資産合計	2,964	3,136	172
自己資本比率	93.0%	77.2%	

NOTE

- ・ 研究開発投資は継続しつつ、新株予約権行使が進行し現金及び預金が増加。
- ・ 普通社債の発行により流動負債が増加。

2026年第2四半期末 財務状況(損益計算書)

MDL-101プログラムの臨床試験に向けた活動費用が主なものとなり、事業費用989百万円を計上

(百万円)

	2025年12月期 第2四半期 (A)	2026年12月期 第2四半期 (B)	差異 (B) - (A)
事業収益	-	-	-
事業費用	1,031	989	△42
研究開発費	906	900	△5
販管費	125	88	△37
営業利益	△1,031	△989	42
経常利益	△1,019	△954	64
当期純利益	△1,020	△909	110

NOTE

- MDL-101を中心とした開発活動進展に伴い研究開発投資を継続。一方で、資本政策および外部資金活用を含む財務戦略を継続的に推進。